



山本 奈央 議員

清水町の農業の未来について

町長 農業所得の安定確保に向けた取組を強化する必要がある

一般質問の全編はこ
ちらから



問

清水町の農業は、町の基幹産業であり、地域経済の発展に大きく貢献している。しかし、高齢化による離農や後継者不足により、農家戸数の減少が進んでいる。持続可能な農業を実現するためには、こうした課題への対応が不可欠である。清水町の農業を次世代へとつなぐための方針について町長の考えを伺う。

(1) 清水町の農業の現状と課題をどのように認識しているか
(2) 生産基盤の整備や農業者の支援に向けた具体的な施策の展望
(3) 経営基盤強化のための支援策や新たな取り組みの方向性

町長

(1) 現状においては遊休農地は発生していないが今後においては楽観視できない。農業後継者の配偶者対策や多様な担い手の育成と確保を課題と認識し、新たな労働力の確保に努める。

(2) 農業者の要望を把握し計画的に基盤整備の検討をしていく。また、JA十勝清水町によるブランド力強化や営農対策協議会による研修や営農指導などの支援を行う。
(3) 農業所得の安定確保に向けて、今まで以上に関係機関が一丸となって取り組みを強化する必要がある。

「しみずらば」の具体的な運営方針と成果目標について

町長

自由な発想と挑戦意欲のある方を応援し、活動してもらおう

問

町長の所信表明で示された「しみずらば」構想は、全国の「やりたい」を集め、清水町のフィールドや資産を活用しながら、地元経済を活性化する取り組みのことだが、その実現には具体的な運営方針や支援体制が明確であることが重要となる。ついては具体的な展望を伺う。

(1) 「しみずらば」はどのような体制で運営し、どのような支援を行うのか
(2) 清水町の資産やフィールドを活用するための具体策

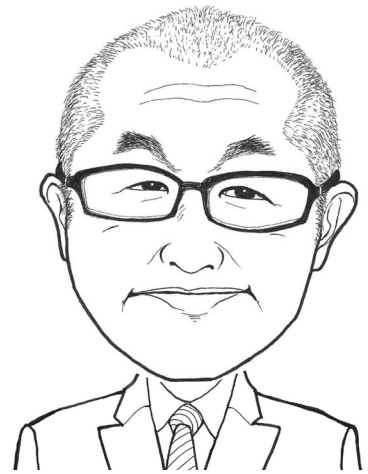
町長

本町が有する自然や食、交通アクセスの良さなど、優れた資産を活用した自由な発想と挑戦意欲のある方々を応援し、本町を拠点に活動してもらおう。支援体制や支援内容、数値目標などは、これから関係部署や関係機関などとも協議を行い整える。プロジェクトの参加資格は「清水町でプロジェクトを行う意思があること」「プロジェクトに社会性があること」「提案者・町民・町それぞれにメリットがあること」を基準にする。全国の「やりたい」と既存の企業が共存し共に発展する元氣のある町にしたい。

観光振興と家畜 伝染病予防

町長

防疫演習への参加、多言語での
立入禁止看板の配布、出入口の
消毒の徹底を呼び掛け、観光協
会とも連携して啓発を行う



橋本 晃明 議員

問

観光を振興して
経済を活性化す
ることは重要だが、本町
の基盤産業である酪農・
畜産を家畜伝染病から守
ることは最重要課題であ
る。

今年に入ってから、1
月にドイツで、3月には
韓国で口蹄疫が発生して
いる中、韓国からは帯広
空港に直行便が就航する
他、日高山脈襟裳十勝国
立公園指定などにより国
内外から観光客増加が見
込まれる。
農業担当課だけでな
く、観光担当や全庁的な
意識の共有と対策の強化
が必要ではないか。
また、早期発見、早期
通報の徹底が重要ではな
いか。

町長

高病原性鳥
インフルエ
ンザ、口蹄疫、アフリカ
豚熱については、アジア
の近隣諸国などで依然と
して発生が続いている。

町としては、万が一の
際に備え防疫演習への参
加、外国人への対応とし
て多言語での農場内への
立入禁止看板の配布、牧
場出入口の消毒の徹底を
呼び掛けるとともに、観
光協会とも連携して観光
客への啓発を行いたい。

指定管理者の変更

町長

心配なく安心して利用いただ
けるよう、事業者間の引継ぎの調整
や運営管理の指導を行う。また、
スポーツ教室事業も実施しても
らい、施設の活性化に努める。

問

体育館など社会
体育施設の管理
者が、NPO法人清水
町体育協会から株式会
社ソルプレーサ・イノ
ベーションズに変更さ
れることになったが、
町として、指定管理者
制度を活用していかに
本町のスポーツ振興を
進めていくか伺う。

町長

指定管理者
の変更にお
ける今後の町の関わり方
については、施設利用者
の皆さんが心配なく安心
して利用いただけるよう
に、事業者間の引継ぎの
調整や運営管理の指導を
行う。また、スポーツ
教室事業も実施してもら
い、施設の活性化に努め
る。

清水町体育協会が大き
な役割を果たしている少
年団の育成やスポーツ大
会等については、引き続
き共催等による協力や運
営を支援しスポーツの振
興に努める。



一般質問の全編は
こちらから

